

みずほCustomer Desk Report 2023/03/14 号 (As of 2023/03/13)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	134.37
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	134.94	1.0682	143.99	1.2069	0.6633
SYD-NY High	135.01	1.0748	144.40	1.2200	0.6716
SYD-NY Low	132.30	1.0648	141.42	1.2040	0.6587
NY 5:00 PM	133.23	1.0732	142.97	1.2183	0.6668
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,819.14	▲ 90.50	日本2年債	▲0.0300%	0.0000%
NASDAQ	11,188.84	49.95	日本10年債	0.3000%	▲0.0900%
S&P	3,855.76	▲ 5.83	米国2年債	4.0127%	▲0.5777%
日経平均	27,832.96	▲ 311.01	米国5年債	3.6810%	▲0.2873%
TOPIX	2,000.99	▲ 30.59	米国10年債	3.5430%	▲0.1596%
シカゴ日経先物	27,235.00	▲ 360.00	独10年債	2.2730%	▲0.2210%
ロンドンFT	7,548.63	▲ 199.72	英10年債	3.3625%	▲0.2670%
DAX	14,959.47	▲ 468.50	豪10年債	3.5210%	▲0.1090%
ハンセン指数	19,695.97	376.05	USDJPY 1M Vol	14.05%	1.16%
上海総合	3,268.70	38.62	USDJPY 3M Vol	13.23%	0.91%
NY金	1,916.50	49.30	USDJPY 6M Vol	12.28%	0.62%
WTI	74.80	▲ 1.88	USDJPY 1M 25RR	▲1.92%	Yen Call Over
CRB指数	264.67	▲ 0.32	EURJPY 3M Vol	12.39%	1.08%
ドルインデックス	103.60	▲ 0.98	EURJPY 6M Vol	11.94%	0.77%

東京	東京時間のドル円は134.94レベルでオープン。米地銀に関連したHLが交錯する中、金融システムへの影響等を勘案し、当局が利上げペースを緩めるとの期待も入り、米金利低下、ドル円は133.70近辺まで下落。売り一巡後は、米2月CPI発表を明日に控えていることもありドル買い圧力がかかり、134.43レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場はリスクオフで円買い進む。ユーロ・ストックス50指数が一時3.7%程度下落するなど東京時間に続いてリスクオフとなり、米金利はさらに低下。米債券と並んで円買いも進み、ユーロ円は144.15レベルでオープンし、一時141円台まで下落、ポンド円は162円後半でオープンし、一時160円台までそれぞれ下落した。ドル円は、134.43レベルでオープン。クロス円の下落を伴ってドル円は一本調子で132.30まで売られ、結局133.15レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	先週に続いて米地銀の破綻を背景に、米金融システムへの不安が高まる中、ドル円は135円丁度付近でスタート。オセアニア時間に掛けて一時133.58まで下落するも、その後の東京時間では134.94まで戻すなど激しい値動きが続いた。その後欧州勢参入後には再びリスク回避の円買いが先行し、ドル円は軟調に推移し133.15レベルでNYオープン。オープン後は132.30まで下落し、朝方にバイデン米大統領が米金融システムの健全性に関する演説を行ったが、市場の反応は限定的だった。その後米主要株価指数の上昇を受け、ドル円もじりじり上昇し133.64まで反発するも、明日の米2月CPI発表を控え上値追いは限定的で次第に反落し、結局133.23レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.06台半ばでスタート。海外時間では米地銀破綻の余波を懸念して、ユーロ買いが先行し1.0736まで上昇したが、その後、独長期金利低下と共に反落し1.0665レベルでNYオープン。午前中は再びユーロ買いが加速し、1.0748まで上昇。午後も高値圏で底堅く推移し、1.0732レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・多川

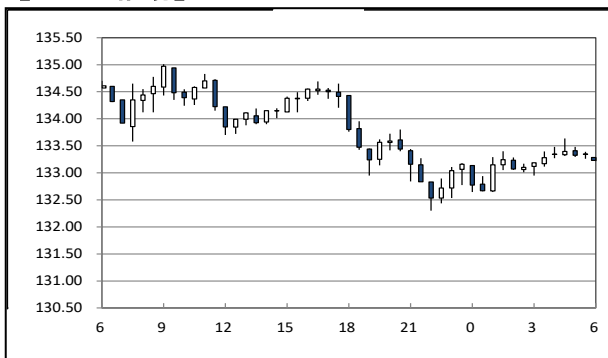
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
------	------	-------	----	----

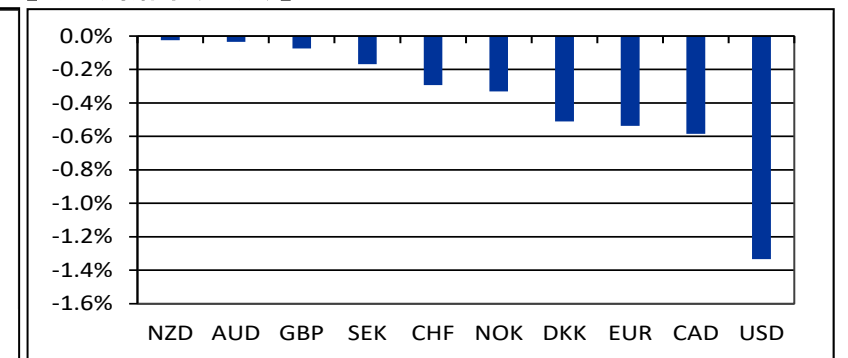
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月14日	16:00	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	1月 6.6%	6.7%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	2月 0.4%/6.0%	0.5%/6.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	131.50-134.50	1.0650-1.0800	141.00-144.00

【マーケットインプレッション】

前日のドル円は米地銀の経営破綻に端を発したリスクオフ地合いから軟調な推移。東京時間134.94でオープン後は、米地銀に関連したヘッドラインに振られる形で上下動するも、欧州時間入り後に大幅に円買いが進行。FRBの利上げ停止に関する思惑などから大幅に低下した米金利につられる形で、欧州を中心に各国の債券利回りも低下する中、ドル円は一時132.30まで下落。その後の反発も限定的なものとなり、133.23でクローズした。

本日のドル円も軟調な推移となることを予想する。米2月CPI発表のタイミングで値幅が出る可能性はあるものの、利上げ停止の思惑が強まっている状況下、目下の注目材料は米地銀の経営破綻の影響。米経済への余波や金融システムの安定性が確認されるまでは、引き続きリスクオフ寄りの動きが強まることを想定している。